

SATREPS 地球のために、未来のために



SATREPSのマスコット「レップスくん」。
”動かない鳥”として有名なハシビロコウがモデル。

国際科学技術共同研究推進事業
**地球規模課題対応国際科学技術協力
プログラム (SATREPS)**

独立行政法人科学技術振興機構 (JST)

参事役・地球規模課題国際協力室長

岡谷 重雄

SATREPSの発足

地球規模課題対応国際科学技術協力 Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

JSTと独立行政法人国際協力機構(JICA)が共同で実施している、地球規模課題 解決のために日本と開発途上国の研究者が共同で研究を行う3～5年間の研究プログラム。

地球規模課題・・・
一国や一地域だけで解決することが困難であり、国際社会が共同で取り組むことが必要

SATREPSの目的とスキーム

SATREPSの目的

1. 国際科学技術協力の強化

～ 日本と途上国のWin-Winの関係づくり～

2. 新たな技術・新たな知見

～ 地球規模課題解決・科学技術水準の向上～

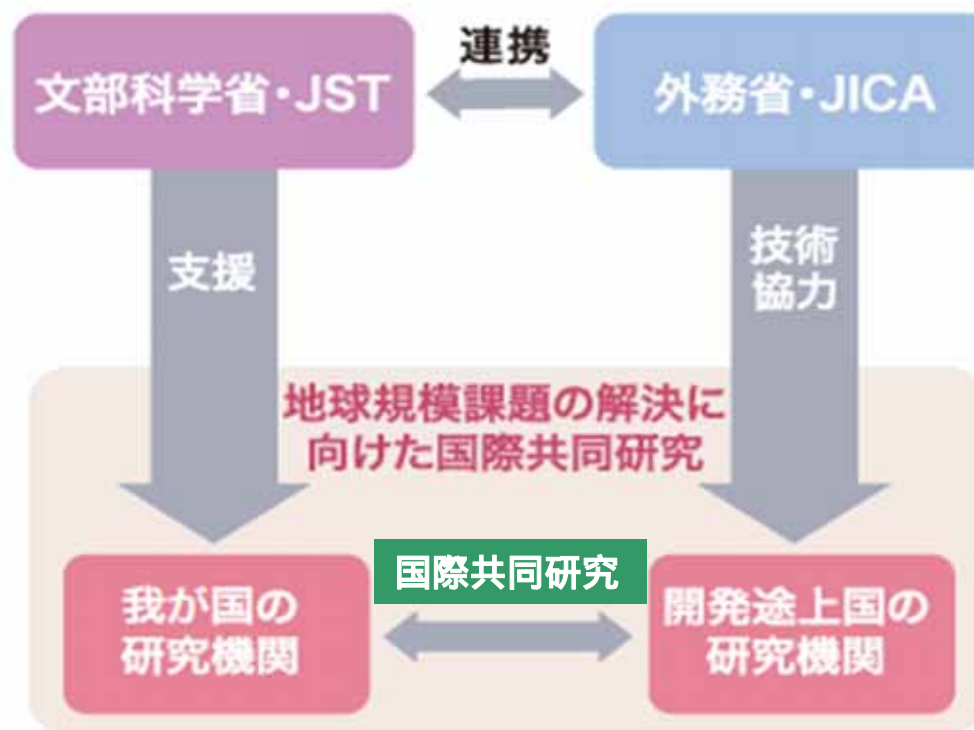
3. キャパシティ・ディベロプメント

～ 自立的な研究開発能力・持続的活動体制・
人材育成とネットワークの形成～

4. 将来的な社会実装

～ 成果の社会還元～

SATREPSのスキーム



SATREPSの分野、期間、規模

(1)研究分野

: 4分野・5領域



環境・エネルギー

- ・地球規模の環境問題
- ・低炭素社会の実現に向けたエネルギーシステム

- { 気候変動への適応、緩和
- { 安全な水の確保・処理、生態系・生物多様性の保全・修復

生物資源

- { バイオマス・エネルギー、省エネ、再生可能エネ等の利用
- { 育種・栽培技術、水産資源管理、養殖技術・飼養技術
- { 生物資源の評価・利用技術(生物多様性の利活用を含む)

防災

- { 自然災害メカニズムの解明(地震・火山噴火 等)
- { 自然災害に対する被害軽減方策

感染症

- { (鳥インフル・豚インフル等)人獣共通感染症
- { (HIV/AIDS, テング熱等)新興・再興感染症の診断・予防・治療

(2)期間

: 3-5 年

(3)プロジェクトの規模 (JST+JICA)

: 1 課題あたり 1 億円/年

SATREPS 採択状況 (H20年度-H24年度)

SATREPS 2011-2012
SATREPS プロジェクトマップ
SATREPS Projects around the World

SATREPS 2011-2012



34カ国で、66研究プロジェクトが進行中！

半数はアジア、約1/3はアフリカ

ASEAN加盟国は約4割

(インドネシア7カ国、タイ6カ国、ベトナム6カ国、
フィリピン4カ国、マレーシア3カ国)

(as of September 10)

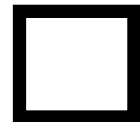
研究分野・研究領域	地域別内訳			H20 採択 数	H21 採択 数	H22 採択 数	H23 採択 数	H24 採択 数
	アジア	アフリカ	その他					
環境・エネルギー (気候変動)				4	4	0	-	-
環境・エネルギー (低炭素社会・エネルギー)				-	-	4	3	2
環境・エネルギー (地球規模の環境課題)	34	19	15	3	2	4	1	2
生物資源				-	6	5	2	3
防災				3	4	2	2	1
感染症				2	4	2	2	1
計				12	20	17	10	9
						68		

SATREPSの課題



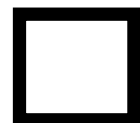
出口問題

死の谷を乗り越えて次のステージへ



入口問題

いい玉の発掘・形成



納税者対策

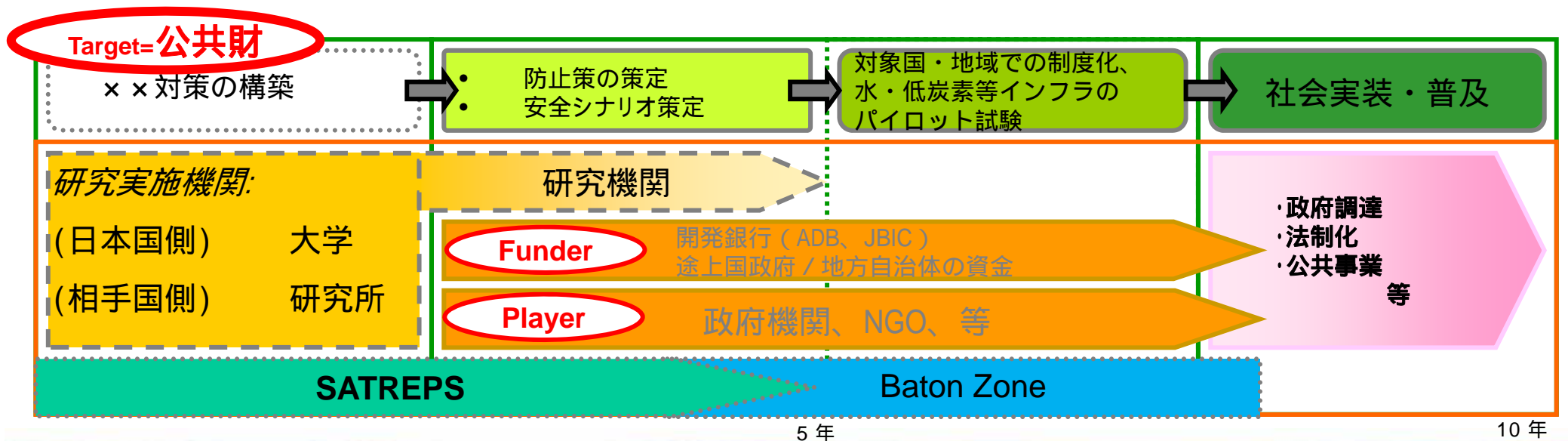
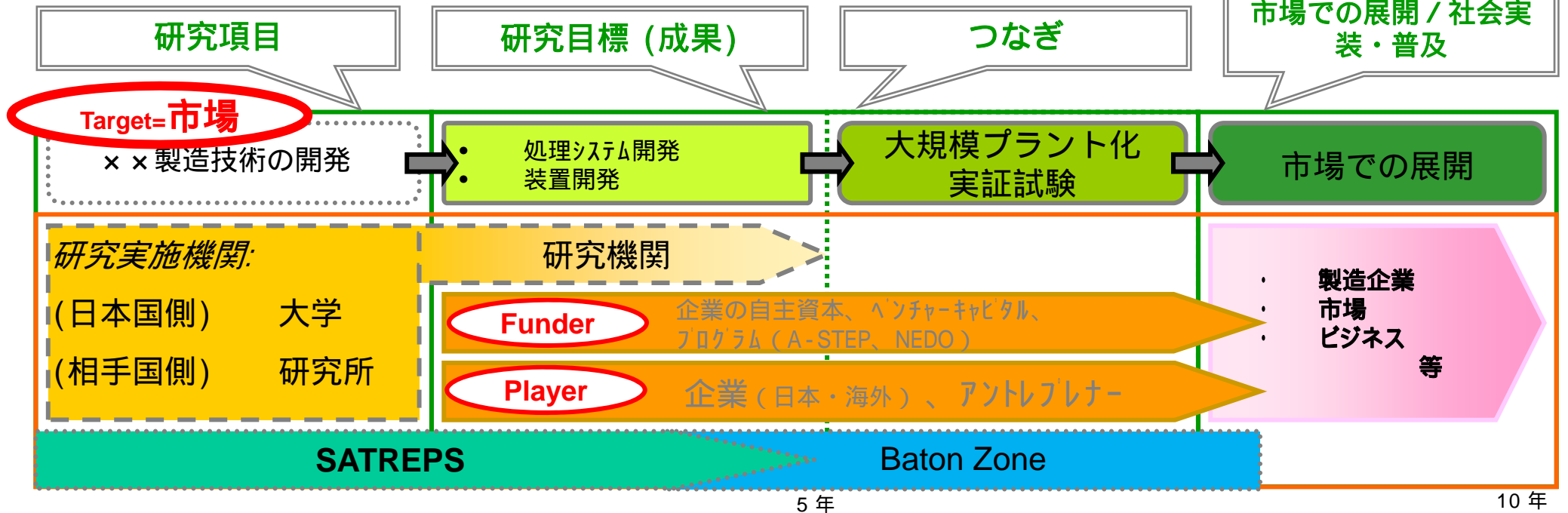
認知と「いいね！」感



SATREPS

👍いいね!

出口連携策（ターゲット別イメージ）



出口連携策（例2）

「アジア地域の低炭素社会シナリオの開発」（マレーシア）

